

令和3年度全九州高等学校体育大会

男子第54回・女子第4回 全九州高等学校自転車競技大会

実 施 要 項



2021

主 催	九州高等学校体育連盟 福岡県教育委員会
後 援	公益財団法人福岡県スポーツ協会 久留米市 久留米市教育委員会
主 管	九州自転車競技連盟 福岡県高等学校体育連盟 福岡県自転車競技連盟

1 期日・会場

(1)開会式 新型コロナ感染症対策のため、実施しない。

(2)競技

日 時	令和3年 6月 11日(金)	16:00	トラック競技	1日目
	12日(土)	9:40	トラック競技	2日目
	13日(日)	9:40	トラック競技	3日目
	14日(月)	8:45	ロード競技	

会 場 トラック競技 久留米競輪場(周長 400m)
〒839-0862 福岡県久留米市野中町 2
Tel:0942-43-3996
ロード競技 HSR九州サーキットコース
〒 893-2402 熊本県菊池郡大津町平川 1500
Tel: 096-293-1370

(3)閉会式

日 時 令和3年 6月 14日(月) 13:30~
会 場 HSR九州

(4)諸会議

会 議 名	日 時	会 場
専 門 委 員 長 会 議	6月11日(金) 10:30	久留米競輪場 記者席
監 督 会 議	6月11日(金) 11:30	久留米競輪場 記者席
監督会議(総体出場者選考会議)	6月14日(月) 14:00	HSR九州 会議室

2 競技規則・方法

(1) 2021 年度(公財)日本自転車競技連盟競技規則および全国高等学校体育連盟自転車競技専門部申し合わせ、ならびに大会確認事項による。

(2) 競技種目

男子

- (ア) 1km タイム・トライアル(個人種目)
- (イ) 3km インディヴィデュアル・パーシュート(個人種目)
- (ウ) スプリント(個人種目)
- (エ) 4km 速度競走(個人種目)
- (オ) ポイント・レース(個人種目)
- (カ) スクラッチ(個人種目)
- (キ) ケイリン(個人種目)
- (ク) チーム・スプリント(団体種目)
- (ケ) 4km チーム・パーシュート(団体種目)
- (コ) 個人ロード・レース(個人種目)

女子

- (ア) 500mタイム・トライアル(個人種目)
- (イ) ケイリン(個人種目)
- (ウ) 2kmインディヴィデュアル・パーシュート(個人種目)
- (エ) スクラッチ(個人種目)
- (オ) チーム・スプリント(団体種目)
- (カ) 個人ロード・レース(個人種目)

(3) 学校対抗順位決定方法 男子

競技	種目	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
トラック	個人	9	7	6	5	4	3	2	1		
	団体	10	8	6	5	4	3	2	1		
ロード	個人	12	10	8	7	6	5	4	3	2	1

学校対抗順位決定方法 女子

競技	種目	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
トラック	個人	9	7	5	3	2	1		
トラック	団体	10	8	6	4	2	1		
ロード	個人	9	7	6	5	4	3	2	1

上記を合計して学校順位を決定し、同点の場合には、1位入賞者の多い学校を上位とする。
それでも決定しない場合は団体種目の上位入賞校で決定する。

3 引率・監督について

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(地方公務員法第22条の2に示された者)も可とする。但し、当該都道府県高体連会長に事前に届け出ること。
- (2) 監督・コーチ等は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に加入することを条件とする。
- (3) 但し、上記(1)(2)について各県における規定が定められ、引率・監督がこの基準より限定された範囲であれば、その規定に従うことを原則とする。

4 参加資格

- (1) 参加者は各県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、本競技実施要項により、九州大会の参加資格を得た者に限る(1位から順次出場させること)。
- (2) 2021年(公財)日本自転車競技連盟登録者である。
- (3) 平成14年(西暦2002年)4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場回数は同一競技3回までとし、一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒の混成は認めない。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校・転籍後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)但し、一家転住等やむを得ない事由による場合は、所属県高等学校体育連盟会長の認可があれば、この限りでない。
- (7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属する各県高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例による学校の参加については、全九州高等学校体育大会開催基準要項の通りとする。
- (9) その他大会開催申し合わせによる。

5 参加制限

- (1) 県大会の団体種目6位まで、個人種目8位までの入賞者(ロード競技のみ10位までの入賞者)とする。ただし、トラック競技で出場権を得た選手はロード競技にも申し込むことができる。
- (2) チームの編成は、監督1名、コーチ又はメカニシャン1名、トラック競技は男子選手13名以内、女子選手6名以内とする。ロード競技は男子8名以内、女子は6名以内とする。なお、補欠は男女とも3名以内とする。
- (3) トラック競技は、男子は各種目1校2名以内とし、団体種目を除いて1人2種目まで出場できる。但し、団体種目については、同一選手が2種目エントリーすることはできない。
女子は500mタイム・トライアル、2kmインディヴィデュアルパーシュートに加え、ケイリンまたは、スクラッチのどちらかに出場できる
- (4) 次の種目については、下記のタイム制限を設ける。
1kmタイム・トライアル 1分12秒000以内

3km インディヴィデュアル・パーシュート 3分55秒000以内

- (5) 外国人留学生の参加は、1校6名以上の場合は2名以内、5名以下の場合は1名とする。但し、団体種目については1名とする。

6 参加申込

- (1) 申込締切日 令和3年5月31日(月) 17:00 必着

- (2) 申込方法

所定の申込用紙により3部作成し、各県高等学校体育連盟自転車競技専門部で取りまとめる。

1部は所属高等学校体育連盟の控えとし、2部は書留速達にて送付すること。

県大会終了後、参加申込書および、宿泊・昼食申込書を電子データにて直ちに送信すること。

- (3) 申込先 〒830-0052

福岡県久米市上津町 2192 祐誠高等学校 月成憲一 宛

TEL: 0942-22-1238 FAX: 0942-22-1239 E-mail: tsukinari@yusei.ed.jp

7 参加負担金

- (1) 一人 1,800円

同一選手がトラック競技とロード競技に出場する場合は参加負担金をそれぞれ納めること。

- (2) 振込先 銀行名: 福岡銀行 国分支店

口座名称: ふくおかけんこうたいれんじてんしゃきょうぎせんもんぶ つきなりけんいち 福岡県高体連自転車競技専門部 月成憲一

口座店番: 639

口座番号: 303669

8 組合せ

開催県高等学校体育連盟で行う。

(原則として、開催県高等学校体育連盟理事長が同席する。九州専門委員長の同席も可とする。)

9 表彰

団体総合ならびに各種目とも、第1位から第3位まで表彰する。

10 宿泊

- (1) 参加者の宿泊は、大会事務局の指定宿舎とする。宿舎の割当ては大会事務局が行う。

- (2) 所定の申込用紙に必要事項を記入の上、3部作成すること。

1部は当該高体連控えとし、2部を各県高体連競技専門部が取りまとめ、参加申込書と一緒に送付すること。

- (3) 宿泊費は、1人当たり1泊2食9,000円(税・サービス料込)を上限とし、昼食弁当は600円(税込)を上限とする。

- (4) 宿泊決定後の宿泊人員等の変更については、当該校の引率責任者が大会事務局と宿泊エージェントに連絡をとり、相互で確認すること。

- (5) 昼食弁当については、責任者が必要数を取りまとめ、前日の17時までに大会事務局に申し込むこと。

11 参加(申込)上の注意

- (1) 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行うが、その後の治療は治療費も含め本人および引率者の責任で行うこと。

- (2) 参加選手は、2021年有効の競技者登録証ならびに健康保険証を持参すること。

- (3) 参加選手は、必ずJCF公認もしくはJKA公認ヘルメットを着用すること。

- (4) ユニフォームには県名・学校名をつけること。

- (5) トラックおよびロード・レースにおいて、ゴール後にギア比検査を実施する。

- (6) 全国高等学校総合体育大会の選考大会のため、荒天の場合は1日順延することがある。

- (7) 各県専門委員長は、所定の書式により県大会記録を参加申込とともに送付すること。

12 個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて

(1) 参加申込書に記載された個人情報の取り扱い

- ア 大会プログラムに掲載されます。
- イ 競技会場内でアナウンス等により紹介されることがあります。
- ウ 競技会場外の掲示板等に掲載されることがあります。
- エ 組み合わせ等の内容が大会関連ホームページに掲載されることがあります。
- オ 氏名・学校名・学年については、報道の正確性を期すため、大会開催前に報道機関に提供することがあります。

(2) 競技結果（記録）等の取り扱い

- ア 新聞・雑誌及び全九州高等学校体育連盟等関連ホームページ等で公開されることがあります。
- イ 大会プログラム掲載の個人情報とともに掲載されます。
- ウ 新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等は、次年度以降のプログラムに掲載されることがあります。

(3) 肖像権に関する取り扱い

- ア 各県高体連で許可を受けた雑誌・新聞及び全九州高等学校体育連盟等関連ホームページで公開されることがあります。
- イ 各県高体連で許可を受けた映像が競技結果報道等に配信されることがあります。

(4) 対応について

- ア 取得した個人情報を前記利用目的以外に使用されることはありません。
- イ 参加申込書の提出により、前記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして、対応させていただきます。
- ウ 大会役員、競技役員、運営役員、その他各種の委員や補助員等大会関係者及び会場に来られた観客の皆様につきましては、前記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして対応させていただきます。

大会開催に伴う新型コロナウイルス感染防止対策について

大会参加者の共通予防対策

1. 大会参加について

- 選手、監督、コーチ、運営スタッフ等（以下、大会参加者とする）の中に感染者が確認された学校については、大会へ参加することはできない。
- 大会参加者は、過去2週間以内に県外へ行っていないこととし、大会の2週間前から検温結果及び、体調について別紙の体調管理表に記録し、体調不良や発熱等の風邪の症状がある場合は参加できないことを事前に周知する。また、大会当日大会本部へ体調管理表を提出する。

2. 移動・宿泊について

- 大会参加者は、移動の際、可能な限り周囲との間隔を空けることとし、必ずマスクを着用する。併せて可能な限り換気に努める。
- 大会参加者は、大会が連日開催となる場合でも、宿泊を行わない。

3. 感染予防のための4つの基本行動

体調管理とその報告

マスクの着用

人と人との距離を確保

こまめな手洗い、手指消毒

大会開催中の予防対策について

1. 選手、監督、コーチの感染予防対策

(1) 集合時の感染予防対策

- 大会参加者は、必ずマスクを持参し、着用する。
大会参加者は、施設に出入りする際、手指消毒剤をする。
大会参加者は集合時に体調をチェックし、体調不良や発熱等の風邪の症状がある場合は参加しない。
格納庫は機材の出し入れ時のみとし、整備等での利用はしない。

(2) 大会受付時の感染予防対策

- 受付等において、参加者同士が十分な距離を確保して並び、受付する。
選手個人での受付はなるべくせず、各校顧問が代表して行う。
- 受付時に、健康調査表、大会当日体調チェックシートを各校でまとめて提出する。

(3) 待機中の予防対策

- 参加者は必ずマスクを持参し、スポーツを行っていない待機中や会話をする際はマスクを着用する。天候条件により、息苦しさを感ずるようであれば、マスクを無理に着用しない。
- 参加者は、個人間の距離（できるかぎり2m以上）を確保して待機する。
大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ウォーミングアップ及び、試合中のみマスクを外すことができる。
- 試合の前後だけでなく試合中にも、こまめな手洗い又は、消毒を行う。
タオルの共用はしないこと。
- 選手は指定された待機場所を利用し、個人間の距離を確保して過ごす。
- 飲食は指定の場所以外で行わず、対面を避け、周囲の人となるべく距離をとって、会話をなるべくせず、速やかに食事をする。
更衣室は、1回に利用できる人数は1名とし、換気をしながら使用する。
トイレ使用時はふたを閉めて汚物を流すようにし、手洗いは石けんを用い30秒以上しっかり手指を洗淨すること。

(4) 試合中の感染予防対策

- 監督、コーチ、選手、運営スタッフは必ずマスクを着用する。
- 選手は、ウォーミングアップ及び、試合中のみマスクを外すことができる。
- 試合の前後だけでなく試合中にも、こまめな手洗い又は、消毒を行う。
運動時、またそうでない時も周囲の人と距離を空けること。
試合中、選手同士は前走者の人の呼気の影響を避けるよう、位置取りに注意する。
試合中、選手は唾や痰をはくことを極力しない。
試合中、選手、監督、コーチは大きな掛け声、応援等をしないこと。

(5) 試合後の感染予防対策

- 開閉会式・表彰式を実施する場合は密集とならないよう、参加人数を制限し速やかに執り行う。
- 参加者等に感染者が発生した場合には、参加者等に連絡を取り、症状の確認がとれる体制を確保する。また、参加した者は保健所などの聞き取りに協力する。
- ミーティングなどにおいて、長時間密にならないように配慮する。

2. 観客に対する感染予防対策

観客を入れる場合は保護者のみとし、事前申請等により観客を限定し、観客名簿を作成し確認の上、当日入口にて許可証等を発行するとともに、以下の内容について事前に周知する。

(1) 受付時の感染予防対策

- 大会参加者は、必ずマスクを持参し、着用する。
- 大会当日の朝、必ず検温し、発熱等の風邪の症状がある者は、施設利用できない。

(2) 試合観戦時における予防対策

- 観客は必ずマスクを着用し、周囲との間隔を十分空けるとともに、集団となつての応援、ならびに発声による応援は行わない。
- 大会当日の朝、必ず検温し、発熱等の風邪の症状がある者は、来場できない。
- バック側スタンドで飲食をする際は、対面を避け、周囲の人となるべく距離をとって、会話を控えめにして速やかに食事する。また、水分補給は個人のものを用意し、まわし飲みはしない。
- タオルは個人で準備し、共用しない。
- 上記の対応を守れない観客は退場いただく。
- 参加者等に感染者が発生した場合には、参加者等に連絡を取り、症状の確認がとれる体制を確保する。
- また、参加した者は保健所などの聞き取りに協力する。

その他

- (1) 上記の感染防止対策は、最低限のお願いです。
- (2) 観客、選手、役員がそれぞれ感染防止対策、咳エチケット等を常に意識し徹底して行って下さい。
- (3) 大会前の2週間は体温を測り、異常があった際は医療機関に相談し、指示を仰いで下さい。
- (4) 大会終了後、2週間以内に新型コロナ感染症と診断された場合は、事務局にご連絡下さい。